

時事新報

第二千八百八十四號
明治三十二年十二月十九日(乙酉)
舊曆庚辰十一月十九日(乙酉)
本報創刊於明治十一年(西曆一八七六年)十二月十九日
創刊者 島田久太郎
編輯者 島田久太郎
印刷者 島田久太郎
發行所 島田久太郎
電話 〇一〇〇
代價 每月一元二角 半年七元 全年十三元
廣告費 別表

一月一日の紙上

歳末威首の廣告

歳末威首の廣告
本報の歳末威首の廣告は、可成り至急に、
御中込下度左の期日に後れたる廣告の申込は、御依願
に際して、
一日の紙上に掲ぐる者 三十日迄
来る三十一日迄
同前

時事新報定例

時事新報定例
時事新報は、一月一日、休刊せず、其代價
時事新報は、一月一日、休刊せず、其代價
時事新報は、一月一日、休刊せず、其代價

地方より時事新報の注文に付

地方より時事新報の注文に付
時事新報は、注文を受取るに際しては、
時事新報は、注文を受取るに際しては、
時事新報は、注文を受取るに際しては、

時事新報

世界の風潮

世界の風潮
世界の風潮は、如何にも激然たる書き出しされ、
世界の風潮は、如何にも激然たる書き出しされ、
世界の風潮は、如何にも激然たる書き出しされ、

先づ歐洲大陸より看すれば、日耳曼にて大宰相の交代は、
實に意外にして其結果も多くの傍觀者には又意外なる
べし。前大宰相ビスマルク侯は、健康相と迄呼ばれ其勤
功歴等より推して内外人の想像したる所にては、今帝
ウィルヘルム二世に如何なる果敢あるも侯を繼ぐ
ふとは能はざるべしと思ひなるべし。侯が常備兵
増加案を國會に提出して其説明の大演説を著し之を結
女に於て驚愕の可き者ありと云ふ。此一言は、爾後國人の
口に絶えずと聞けり如何にも侯が此言を斷じて置いた
るは必ずしも、誇大の言を擧げたるに非ざりしならん
然れども、當時侯の心中には「乃公ヒスマルクは、獨逸
内に於て上帝の外に恐るべき者あるのみ」と云ふ
左れども、心は變動し易く人事は意外に起るものを見
左右を北極星と人傑とヒスマルク侯も亦人世の風潮を
するも、能はずして然る其要地を去て西海の濱に歸す
べきの運に遇ひ滿洲の不平を種々新聞に依て世間に表
露し人亦其不測を憂ひ者なきに非ざれども、侯の威風
却て衰ふるのみ之に反して幼年の新帝として世人の信
用隆かりしヒスマルク侯は、新帝の大宰相と相得て
文武の百政を勵み、國に對するの友誼を益々温め、國
に對するの威勢を益々張るの器量を示したる實に人
にしてホーンヘンツォルン王家に英明の君主多きを驚
嘆せしむるに至れり唯不可思議なるは、今帝として英主
たりしめたる者はヒスマルク侯にして侯をして其地位
を失はしめたる者は、即ち其英主たりと云ふ人成は侯の
一世を許して其志を續ぐ者を得ずの用意ありしと云
へども、侯を退けたる新帝を、其に侯の志を續ぐ者の如
し、蓋亦奇ならずや之れに大て日耳曼に起りし大事件は、
英國と亞非利加民族に對する新條約を結ぶ其一項と
して、ヘンツォルン侯を英國より請受け以て日耳曼本土
の國境を完備し多年の宿望を達して民心を驚喜せしめ
次て日耳曼内政の一大汚點として内外人に指せられ
たる社會黨黨魁の終期に達して自から廢止に至り
秘密の會合を公開し陰謀の嫌疑を受けたる主義をして
青天白日に討つて其罪惡を暴露して社會黨員は其
勢力減殺すべしと云ふ者あるに至れり是亦意外の成敗
と云ふ可し

國界の價値を著したるものと、更に大なりとすべく此
時名を著すは、幾多の年月を要せんのみ
葡萄牙は歐洲南の國を以て英國の不滿を買ひ過て
英政府を承用せしむるを得ず又過て人心を満足せしむ
るを得ず其政府は久しく過渡期を過りて爲す所を
知らず或は廣く歐洲の輿論を喚起して英國政府の請求を
認めんと企つるも、英國の新聞紙が之に警鐘を敲すのみ
にして眞實に顧みざるが之に反して口舌を無効にして國
境を論じ國境を脱し、英國政府は恰も木偶の人如く其
輪腕に驚嘆の力あり若し古の孟軻起り來らば小國を
以て大國に事ふるの術を教ゆるに如何なる言を以てす
べき乎

力に就き實に世人を驚かし英國國家の聲譽を損じし
たるものと、實に少くも、英國國內の君主及び公卿
會社は互に驚嘆を過して、一已むを得ざるをば、
各港の船舶出入を停止するに至るべしと決心して、其
船に着手するまでに、手前と初めたりし一舉は、
英國全體の利益に容れざる損失を蒙らしむるものと
疑なきが如し

英國政府は其内政上志を得ずして失敗を慮ねたるも
大英大臣の財政部は、人心を維之れに加ふるに
ルズベリ侯の外交策には非常の繁忙を極め歴史家
の永く忘るべき得ざる波瀾に千百倍すべき亞非
利加大陸の對峙を實行せり其順序は東岸の中部に關し
て日耳曼を相繼して境界を定め之に對する大の碼頭を興
て其自負心を満足せしめ、更に他に幾多の利益を占め
且一統に日耳曼の政策をして、英の外交政策と衝突す
る所なからしめんと計りて之れを達したるが如し此
一點は日本人の直接に思ひ當るものも知る可らず次
に亞非利加大陸より中央に互りて、佛國との境界を定
め生來の敵國ながら、妙に調和成りて佛人に満足と東
一方には、俄に二百年持続の「ニューファウン
ドランド」の漁權に關する英佛間の紛争は其後に指して更
に東北岸紅海地方に關する境界を論じ、たゞ決議に達
せんとし中絶せり而して、注意すべきは英國は埃土
國の後見人として此議に與るの一點あり今日に至るま
で英國が埃土地方に有する權限は實に曖昧なりと雖も
も今回英國政府の爲す所は佛人も見ざるが如し是
れ實に佛人に暗に示す所ありしに由るか今日以後埃
土に於る英國の地位は益々鞏固なりと云ふべきなり其
他英國外務省は北米合衆國と「ヘンツォルン」海峽の水權
を争ひ互に相問答に及ぶ所ありしに由るか今日以後埃
土に於る英國の地位は益々鞏固なりと云ふべきなり其
に迫りて、上海と東洋市場に關するものも、此は英國
の外交策の一進歩を見做すの價値あるべし又西國内の
獨立州ナレノに革命を生じて人心を満足せしめたるは、
其國する所少くも、細小の國の腐敗して人心を倦
しめ終に之れを怒らしむるの結果は古今を通じて一轍
あり然るに此觀見の道理に背き自ら禍を招き、
是に在るものと、證明したるのみ、讀者の憤慨して止む
能はざる所なり又「ヘンツォルン」半島諸國は、
の制約を脱し各自に其獨立を争ふの道に進み、
歐洲戰亂の種子を此地に播くの念は未だ嘗て絶え
ざるなり

社會上并に經濟上に於て最も世人の注意を惹きし日
耳曼帝が歐洲各國の代表者と柏林に招待して、
耳曼帝が歐洲各國の代表者と柏林に招待して、
耳曼帝が歐洲各國の代表者と柏林に招待して、

之より一轉して西半球を一顧するに、昨年十一月中旬に
南米に「ブラウ」合衆共和國を造り出し國民の兼ねて愛
慕せし英明の老帝は、全く疑を断りて全國は新政體を
以て先づ承認したるか如し、其他「アルマニヤ」共和國
の内戰、中央亞米利加の戰爭は、共に歐洲の金融市場に
影響する所ありしならん、雖も其政治上には、大に關
係する所なきが如し、獨り全世界を震撼するの力ありし
は、北米合衆國の鐵腕輸入の條例并に輸入税増加のマツ
ヤンレー條例は、れあり實に米國は武力を畫へず又外國
交際を好まざるを以て世界の列國間に政治上に懸念す
るものと、殆んど無難を購ふ可れども、
上にて國會議員數人の方は、是れ高聲を以て自ら任
する歐洲大陸の老政治家をして、或は喜ばしめ或は泣か
しむるを得べし、又其一舉一動は、以て萬國市場の金穴を
して、
明瞭に排斥して、
實に明瞭に排斥して、
實に明瞭に排斥して、

○清國通信 (十二月十二日)
傳妻龍氏の消息 據に日本及び米國と關係して、
傳妻龍氏は北京政府に復命するや、大に其政體の精
細を賞せりと、嘉賞せられて、二品銜候補に叙せられたる
なり、且北洋大臣李伯の麾下に屬して、外交事務を御せ
られたるに、昨十一月北京より漸く、
中和客棧に投宿したり、此處は其黨派を引續かざるも、
のを便宜の重宝を見計らひ、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、

○清國通信 (十二月十二日)
傳妻龍氏の消息 據に日本及び米國と關係して、
傳妻龍氏は北京政府に復命するや、大に其政體の精
細を賞せりと、嘉賞せられて、二品銜候補に叙せられたる
なり、且北洋大臣李伯の麾下に屬して、外交事務を御せ
られたるに、昨十一月北京より漸く、
中和客棧に投宿したり、此處は其黨派を引續かざるも、
のを便宜の重宝を見計らひ、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、

○清國通信 (十二月十二日)
傳妻龍氏の消息 據に日本及び米國と關係して、
傳妻龍氏は北京政府に復命するや、大に其政體の精
細を賞せりと、嘉賞せられて、二品銜候補に叙せられたる
なり、且北洋大臣李伯の麾下に屬して、外交事務を御せ
られたるに、昨十一月北京より漸く、
中和客棧に投宿したり、此處は其黨派を引續かざるも、
のを便宜の重宝を見計らひ、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、

○清國通信 (十二月十二日)
傳妻龍氏の消息 據に日本及び米國と關係して、
傳妻龍氏は北京政府に復命するや、大に其政體の精
細を賞せりと、嘉賞せられて、二品銜候補に叙せられたる
なり、且北洋大臣李伯の麾下に屬して、外交事務を御せ
られたるに、昨十一月北京より漸く、
中和客棧に投宿したり、此處は其黨派を引續かざるも、
のを便宜の重宝を見計らひ、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、

○清國通信 (十二月十二日)
傳妻龍氏の消息 據に日本及び米國と關係して、
傳妻龍氏は北京政府に復命するや、大に其政體の精
細を賞せりと、嘉賞せられて、二品銜候補に叙せられたる
なり、且北洋大臣李伯の麾下に屬して、外交事務を御せ
られたるに、昨十一月北京より漸く、
中和客棧に投宿したり、此處は其黨派を引續かざるも、
のを便宜の重宝を見計らひ、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、

○清國通信 (十二月十二日)
傳妻龍氏の消息 據に日本及び米國と關係して、
傳妻龍氏は北京政府に復命するや、大に其政體の精
細を賞せりと、嘉賞せられて、二品銜候補に叙せられたる
なり、且北洋大臣李伯の麾下に屬して、外交事務を御せ
られたるに、昨十一月北京より漸く、
中和客棧に投宿したり、此處は其黨派を引續かざるも、
のを便宜の重宝を見計らひ、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、
官廳を訪問して、天津地方の、